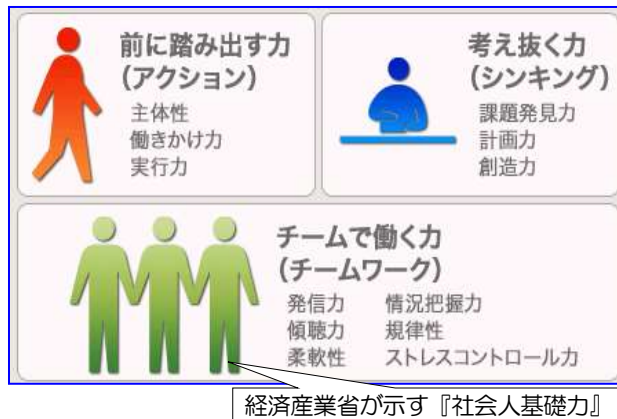
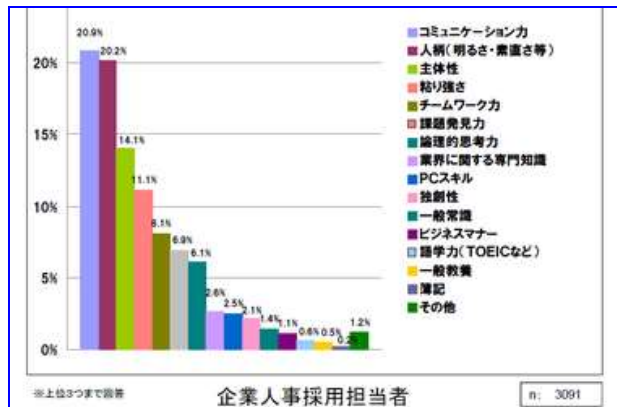




社会が求める力「社会人基礎力」の土台づくり！

平成22年に経済産業省が行った「社会人基礎力」に関する調査では、企業が学生に対し「主体性」「粘り強さ」「コミュニケーション能力」といった「社会人基礎力」に類する内面的な能力の不足を感じているという結果が示されています。なぜ、このような「社会人基礎力」を企業が求めているのでしょうか。法政大学大学院教授「諏訪康雄」氏(総務省 社会人基礎力育成・評価手法開発プロジェクト委員会 委員長)は、こう指摘しています。『社会において何らかの意義ある役割をはたすことが求められる社会人が、課された役割や仕事をこなすとき、指示待ち人間、マニュアル人間、一匹おおかみでは、周囲の人をあきれさせ、困らせてしまう。指示待ち人間でなく「前に一歩踏み出す力」を備えたい。マニュアル人間でなく「考え抜く力」を持ちたい。一匹おおかみでなく「チームで協力する力」を身につけたい。さもないと、組織や地域において周囲から評価されない。自分の位置を確保するうえで苦勞する。現に周囲を見渡すと、学力は決して低くないのに、仕事の成果が上がっていない人がいる。それなりに頑張っているのだが、いつの間にか周囲から浮いてしまう人がいる。悪い人ではないけれども、一緒には仕事したくないような人もいる。そうした人びとには、どこか社会人基礎力が欠けている。他方で、学力が必ずしも高くなくとも、周囲と調和を取りつつ、目覚ましい活躍を見せる人はたくさんいる。』と。そして、社会人基礎力は、社会関係を築くうえで必要とされる能力であり、学力、体力だけでなく、意識的に育成することを教育現場に求めています。



本校でも、「社会人基礎力の土台づくり」を意識した教育活動を展開しています。「すべては子供たちの未来の幸せのために」を合い言葉に、一人一人の児童の個性の伸長を図りながら、同時に社会的な資質や能力・態度を育成していくため、児童の自己指導能力の育成を目指す「生徒指導の機能を生かす教育」を学校経営の柱に据えております。自己指導能力とは、「その時、その場で、どのような行動が適切か、自分で考えて、決めて、実行する能力」であり、判断の規準は「自分のためにもなり、みんなのためにもなる」が基本です。「自己存在感」「自己決定」「共感的人間関係」を合い言葉に、意欲や自信、主体性、協働を引き出す教育に努めているところです。また、このことは、被災地における「心のケア」の充実(安心・安全な愛情あふれる共感的な環境の中で自己効力感や自尊感情を醸成し、自己決定を促し、内面からの自己変容を支えていく)と軌を一にするものです。

例えば、学芸会では、「できる限り先生に頼らないで自分たちの力で成功させよう。」を合い言葉に、指示をしなくても自ら考え判断し静かに話を聞く全校児童の姿、やらされるのではなく自らよりよい発表にしようと努める姿、自ら進んで考えて係の仕事や演技の準備に取り組む姿等々…。「自分で考えて判断して責任を持ってやり遂げる」といった主体的な姿があらゆる場面で見られました。これからも生徒指導の機能を生かした教育活動の充実を基盤に、「主体的で対話的な深い学び」を追求し「社会人基礎力の土台づくり」に努めていく所存です。「子供たち一人一人が自己効力感と自尊感情を持ち、より意欲的に、より主体的に、互いに認め合い高め合いながら、自らの可能性切り開いていく」教育活動の充実に取り組んでいく所存です。「すべては子供たちの未来の幸せのために」



すばらしかった「学芸会」!
 1～6年生のすべての作品の質は、これまで私が経験したことのないレベルの高いものでした。そして、何よりもすばらしいのは、子供たちがやらされるのではなく自ら進んで、工夫して、仲間と力を合わせて創り上げたことです。5・6年生の運営の仕事ぶりも含めて、まさに社会人基礎力を存分に発揮して創り上げた他に誇れるすばらしい学芸会となったと確信しております。

困難を乗り越える力（レジリエンス※）を育む！

子供たちは、一人一人例外なく、無限の可能性を秘めています。その可能性を開花させていくためには、何事にも自信を持って挑戦しどんな「困難を乗り越える力」を育てていくことが大切だと考えます。そして、乗り越える困難が大きければ大きいほど、それを乗り越えたとき、子供たちの無限の可能性は大きく成長していくものです。今、社会では、従来の「学歴」とは異なった「新しい力」が求められています。前述した『社会人基礎力』と言われるもので、「主体性」や「チームで働く力」、「考え抜く力」であり、「問題解決力」「コミュニケーション力」「粘り強さ」等といった力です。『学力』や『体力』はもちろん『社会人基礎力』等を獲得していくためにも「困難を乗り越える力」がその土台となるのではないのでしょうか。また、長い人生の中では、震災に象徴されるような直接的な大きな困難に遭遇することもあるはずですが、ではどうすれば「困難を乗り越える力（レジリエンス※）」を育むことができるのでしょうか。

※レジリエンス(Resilience)

…心理学用語で、困難な状況にあっても柔軟になやかに対応し、それを乗り越える力「順応性(柔軟性)、希望(楽観性)、忍耐力、大局観、社会的知能等」のこと。厳しい“今”を生き抜く現代の組織人に求められる重要な力として指摘され注目されています。

＊生きる力とは、成功を続ける力ではなく、失敗や困難を乗り越える力だ。
〔松井秀喜〕

＊人間には二通りある。不利な状況を喜べる人間と、喜べない人間だ。
〔羽生善治〕

＊すべての逆境には、それに相当する、あるいはそれ以上の益をもたらす種がある。
〔ナポレオン・ヒル〕

＊いかなる教育も逆境に優るものなし。
〔デイズレーリ〕

＊ある人は、自分はだめな人間だと感じて尻込みしてしまふ。一方、ある人は、次々と失敗をくりかえしながら、大きく成長してゆく。
〔ヘンリー・C・リンク〕

＊私は、人生の岐路に立った時、いつも困難なほうの道を選んできた。
〔岡本太郎〕

☆子育てのヒント☆

『 困難を乗り越える力を育むためには？ 』

子供たちに、困難や苦しい状況になったときに乗り越える力を育むためには、私たちにどのようなことができるのでしょうか？

☆ STEP1 … 親身になる

子ども時代に親身になってありのままの自分を受け止めてくれる人がいるかどうかです。

☆ STEP2 … 誰でもよい

それは必ずしも両親でなくてもよいのです。祖父母、親戚、幼稚園や学校の先生、習い事の先生、近所の人など…。

「あなたを大切に思っている」というメッセージを伝えてくれるひとであればいいのです。

☆ STEP3 … その子らしさを生かす

子供がありのままの自分で、その子らしくいられるような環境を作ることが大切です。一見欠点に見えるところも、見方を変えればその子らしさになります。「おおざっぱ」→「おおらか」「神経質」→「几帳面」など物の見方を変えればいいのです。*

その子らしさを認め、伸ばしていくと大人になって危険や困難な状況にあっても、それを乗り越えて自分らしくいられることができるようになります。

※ **リフレーミング**といいます。簡単に説明すると、コップに半分の飲み物があるとき、半分しかないと思うか、半分もあると思うか、物事のとらえ方だけで状況の見え方が変わってくるという考え方です。例えば「自分は短気だ」ということを思っている人が「自分は情熱的だ」と違った枠でみることで、ポジティブに自分をとらえることができるようになります。

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. 飽きっぽい | → 素直・好奇心旺盛な |
| 2. あわてんぼ | → 行動が早い・機敏な |
| 3. いいかげん | → おおらか・寛大な |
| 4. 意地をはる | → しっかり者・くじけない |
| 5. うるさい | → 明るい・活発な・元気がいい |
| 6. おこりっぽい | → 感受性豊かな・情熱的な |
| 7. 落ち着きがない | → 活動的で元気がいい |
| 8. 頑固 | → 意志の強い・信念がある |
| 9. 気が弱い | → 慎重・人を大切にする |
| 10. ぐずぐずしている | → 着実・念入りにことを行う |
| 11. ずうずうしい | → 堂々とした・積極的 |
| 12. だらしない | → おおらか・ゆったりしている |
| 13. 調子にのりやすい | → ノリがいい・雰囲気明るく |
| 14. 生意気な | → 自立心がある・物おじしない |
| 15. ルーズな | → こだわらない・おおらかな |
| 16. 天の邪鬼 | → 個性的・照れ屋 |
| 17. カツとしやすい | → 情熱的な・正義感が強い |
| 18. おしゃべりな | → 社交的な・頭の回転が速い |

- | | |
|--------------|-------------------|
| 19. しつこい | → 粘り強い・徹底している |
| 20. 反抗的な | → 自立心のある・考えがはっきり |
| 21. 気性が激しい | → 情熱的な・感受性豊か |
| 22. わがままな | → 自分の意見をはっきり言う |
| 23. ひねくれている | → 独創的な・信念のある |
| 24. 浮き沈みがある | → 心豊かな・繊細な |
| 25. 出しゃばり | → しっかり者・世話好きな |
| 26. 周りを気にする | → 心配りができる・協調性ある |
| 27. つめたい | → 知的な・冷静な・判断力がある |
| 28. けじめがない | → 物事に集中できる・温和な |
| 29. のんきな | → おおらかな・冷静な・信念のある |
| 30. あきらめが悪い | → 一途な・粘り強い |
| 31. おっとりした | → マイペースな・落ち着いた |
| 32. 騒がしい | → 明朗快活である・発想が豊か |
| 33. ふざける | → 陽気な・雰囲気を明るくする |
| 34. 調子がいい | → 親しみやすい・愛想がよい |
| 35. 気が散りやすい | → いろいろなことに興味をもつ |
| 36. おっちょこちょい | → フットワークが軽い・決断が早い |

